

科目名	対象学科・学年 教育福祉学部 教育福祉学科 3回生 (後期)	担当者 たなか たかはる 田中 孝治
図 工 科 教 育 法		
授業テーマ 小 学 校 に お け る 図 画 工 作 科 の 教 育 法 を 修 得 す る		
授業の概要と目標 「子どもの造形」がもつ特性を、発達の過程や表現などを通して明らかにし、造形することの意義や図画工作科の本質、教育の目標を考察する。さらに、図画工作科授業指導案の作成演習や実技実習を通して、子どもの造形表現に必要な基礎的・基本的なことがらについて、その取り扱いを修得する。また、図画工作科授業を通して一人一人の子どもの表現の能力を高め、その育ちをどのように伸長させるのか、学習方法について研究を進める。		
評価方法 ・出席状況 ・活動の様子 ・提出作品 ・自己評価 ・期末テストなどによって総合的に評価する。		
テキスト	著者	出版社
担当者作成の学習資料を適宜提供する。		
参考書	著者	出版社
小学校学習指導要領図画工作科編 「造形表現・図画工作科・美術科」教育ハンドブック	文部省 大阪児童美術研究会	日本文教出版(株) 教育タイムス社
授業スケジュール・内容		
回	講 義	
1 ◆	「図画工作科教育法」研究の意義 ・教育の課題と教育の流れ	
2 ◆	図画工作科造形技法のいろいろ ・造形技法にある基本的な事柄	
3 ◆	造形遊びの指導例 ・造形遊びの意義と他の分野との関連を中心に	
4 ◆	絵や立体に表す指導例 (1) ・絵画表現の意義と発達を中心に	
5 ◆	絵や立体に表す指導例 (2) ・立体的表現の意義と発達を中心に	
6 ◆	工作的表現の指導例 ・つくりたいものをつくることの意義と材料用具紹介を中心に	
7 ◆	鑑賞に関する指導例 ・鑑賞教育の意義とその方法を中心に	
8 ◆	図画工作科授業の計画 ・指導内容・計画について	
9 ◆	図画工作科授業の計画 ・指導案について	
10 ◆	図画工作科授業の展開 ・指導案の検討	
11 ◆	図画工作科授業の実際 ・授業演習、研究討議	
12 ◆	学習指導要領と図画工作科教育 ・図画工作科教育の本質と目標	
13 ◆	「美術教育」の歩み ・明治から現代へ ・創造主義の美術教育	
14 ◆	これからの教科教育 ・学力観、教育理念	
15 ◆	子どもと造形生活 ・成長発達、「遊び」と造形 ◆全体のまとめ ・図画工作科教育法で学んだことをまとめる ◆期末テスト	
* 毎回、講義ノート(別途配布)に講義記録や考察を記入し、自己評価をしておくこと。(最終講義の時間に提出)		